

お金によるトラブルを経験すると、金銭感覚が変わる。

お金について勉強するためには、トラブルも大切です。
「お金は怖いな」ということを知るために、一度トラブルを経験して、本質を知ることです。

お金は、生き物ではありませんから、動きも、しゃべりも、話したりもしません。

単なる道具です。



しかし、たった100円玉1つで、人間は大喧嘩をすることがあるのです。

たとえば、お金の貸し借りで喧嘩をして、友達を失うという経験です。

一度ひどい経験をすれば、お金の怖さがよくわかります。

特に自分で稼いだお金を通じて、貸し借りのトラブルが発生したとき、大変な怒りを感じることでしよう。

自分が苦勞して稼いだお金だけに、その怒りは想像をはるかに超えるものです。

テレビでは、金銭問題で裁判になったり喧嘩になったりするケースをよく見かけます。

学生時代の私は「それくらいのお金で大喧嘩しなくてもいいのに」と、のんきなことを考えていました。

しかし、自分が仕事をするようになって稼ぐようになると、その気持ちもわかるようになるのです。

たった100円でも、血と汗と涙の混じっているお金だけに、そのトラブルも怖いのです。

私の両親も「お金は怖いぞ。使い方には十分注意しなさい」と、厳しく言います。

2人ともお金によるトラブルを経験したことがあるから、その怖さを十分に痛感しています。

教科書から学べることではないのです。

生で体験して初めてわかること。

もしあなたがお金のトラブルに見舞われたときには、相手ばかりを攻めるのはいけません。

お金は、本来怖いものなのです。

その怖さを知らなかった自分に対して、勉強不足であったと気づきましょう。

自分の勉強不足に怒りを感じ、未然に防ぐことができなかった自分に対して反省しましょう。

「お金はこれほど怖いものなんだ」

「自分の勉強不足が情けない」

「今度からは、お金のやりとりの対策を立てよう」

お金で怒りを感じたときは、金銭感覚を養うチャンスです。

トラブルを経験して、お金の本質が見えてくるのです。

金銭感覚を身につける方法 その17

お金の怖さを知る。